

令和2年11月12日

保護者様

阿南第二中学校長
新野小学校長

新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応について

現在も新型コロナウイルス感染症の感染が依然あります。県下でも新規感染者は発生しており、各学校においても十分な警戒感をもって感染症対策を引き続き実施する必要があります。

感染経路の多くは家庭内での感染が多く学校内での感染拡大を防ぐためには、外からウイルスを持ち込まないことが重要であり、このためには各家庭の協力が不可欠です。

休日及びこれから迎える年末年始の長期休みにおいては不要不急の県外への外出や、県外(直近1週間の人口10万人当たり新規感染者数2.5人を上回っている都道府県)からの親戚などとの交流については、十分にご留意いただき、日頃から児童生徒の健康観察を行ったり、家族に発熱、咳などの症状がある場合には、学校へ相談いただいたりするなど、子どもたちが健康で安全な学校生活を送れるよう、下記のご協力をお願いいたします。

記

- 1 手洗いを徹底する。手指消毒の励行。
- 2 マスクを正しく着用し、飛沫感染を防ぐ。
- 3 3つの密を避ける(密閉空間・密集場所・密接場面) ソーシャルディスタンス(1m以上)を心がける。長時間過ごさない。換気をこまめに行う。
- 4 正確な情報を入手し冷静な行動をとる。
- 5 新型コロナウイルス感染症に関する差別や偏見をしない。
- 6 県外(直近1週間の人口10万人当たり新規感染者数2.5人を上回っている都道府県)との往来については、必要性を改めて検討していただき、慎重に判断していただく。また、この県外への旅行等を計画されている場合は、事前に学校へ相談の上、注意事項の確認をしていただく。そして、帰宅後に、発熱等の体調不良があった場合には、学校へ報告していただく。必要に応じ、出席停止の措置をとります。
- 7 県外(直近1週間の人口10万人当たり新規感染者数2.5人を上回っている都道府県)から親戚等が来られた場合は、来られた方の体調チェックを確認、飛沫感染を防ぐためマスクの着用依頼及び対人距離(最低1m以上)の確保、室内の換気の実施、定期的な消毒等のご理解をいただき感染拡大防止に努めていただく。

※濃厚接触者にならないための対策をお願いします。また、発熱をはじめ体調不良の時は、無理をせず学校を休むようお願いいたします。

「新型コロナウイルス注意報」発出に係る感染拡大防止のお願い

① 信州版「新たな日常のすゝめ」に沿った行動を徹底してください

- ・会食、飲み会では感染リスクの高い行動を避けるよう努めてください
- ・店舗等の講じている感染防止策にご協力ください

② 感染者が多数発生している地域との往来に当たっては十分ご注意ください

③ 発熱等の症状があり、心配な時は速やかに保健所等に電話でご相談ください

④ 事業所での対策の徹底をお願いします

- ・休憩時間など居場所の切り替わりによる気の緩みや環境変化にご注意ください
- ・感染拡大予防ガイドラインを遵守するよう努めてください

① 信州版「新たな日常のすゝめ」に沿った行動を徹底してください

新型コロナウイルス感染症が、飛沫や接触によりウイルスが目・鼻・口から入って感染することを踏まえ、感染を防止するための行動を自ら考え、実践するようお願いいたします。

感染防止の3つの基本（身体的距離の確保、人混み等でのマスク着用、手洗い・手指消毒）を徹底するとともに、クラスター（集団感染）発生リスクが高い「3つの密」を回避し、毎日の健康チェックを欠かさず行うなど、信州版「新たな日常のすゝめ」に沿った行動を徹底してください。高齢者など重症化リスクが高い方は、特にご注意ください。

特に、会食及び飲み会については、当県においても感染例が確認されていることから、「3密」になりやすい場での多人数による実施や、長時間に及ぶ会食、大声を出す行動等を控えるなど、感染リスクの高い行動を避けるように努めてください。また、店舗等を利用する場合は、マナーとしてマスクを着用するとともに、手指の消毒など店舗等の講じている感染予防策にご協力ください。

② 感染者が多数発生している地域との往来に当たっては十分ご注意ください

県外の感染者が多い地域との往来によって感染が生じ、それが家庭等において広がった事例がみられます。

感染者が多数発生している地域との往来に当たっては、業種別ガイドラインを遵守していない接待を伴う飲食店等、クラスター発生のおそれのある場所への訪問を控えるなど、慎重な行動をお願いします。

③ 発熱等の症状があり、心配な時は速やかに保健所等に電話でご相談ください

新型コロナウイルス感染症の初期の症状は、風邪と見分けが付きません。定期的な検温など健康観察を行っていただくとともに、発熱等の症状がある場合には外出を控え、心配な時は速やかに保健所やかかりつけ医に電話でご相談ください。

感染警戒レベル2（松本圏域・長野圏域）は、感染が確認されており注意が必要な状況ですが、外出自粛や休業要請などを行うものではありません。感染防止のための取組を行いながら、通常どおりの社会経済活動を行っていただくようお願いします。

以上の点に十分ご留意いただき、自らを感染から守るとともに、自らが感染源となって感染を拡大させることがないよう、皆様の一層のご理解とご協力をお願いします。また、新型コロナウイルスに感染された方やそのご家族、医療従事者等への誹謗中傷や差別が後を絶ちません。人の心を深く傷つけるこうした行為は、人として決して許されるものではありません。誹謗中傷を恐れるあまりに受診をためらうことは、更なる感染の拡大を引き起こしかねません。必要以上に自粛してしまうことは、地域経済の停滞をより深刻なものにします。私たちが闘うべき相手は「ウイルス」です。

「思いやり」と「支えあい」の心で県民一丸となって新型コロナウイルスを乗り越え、誹謗中傷のない社会、健やかな暮らしと活気ある地域経済の実現に取り組んでいきましょう。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、意識がぼやけ、大きな声になりやすい。
- 特に教員などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のほしご酒では、短時間の食事比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクログ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、屋カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることがある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

